

きつつきの会 視察研修で熊本へ

9月10日からの3日間、きつつきの会(菅野弘美代表／草野)が、災害・震災視察研修で熊本県を訪れました。震災を経験した地域に暮らす者として「災害」への理解を深めることを目的とした研修で、29人が参加。現地では、「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」を視察し、熊本地震で生じた断層も見学しました。また、令和8年7月28日に発生した地震の被災地に義援金を届け、被災者に寄せる思いを伝えました。



宮内女性の会が村内文化財巡り

9月6日、「宮内女性の会」が、村内の文化財巡りを行いました。昨年に続き2度目の実施です。飯樋地区では縄文時代の赤石沢遺跡を見学し、比曽地区では、村指定建造物の「比曽の穀櫃」、村指定天然記念物の「田神社の神杉」、村史跡の「比曽の十三佛」を見学しました。村に残るさまざまな文化財に触れ、関心を深めた皆さん。「近くにあったのに見に来たのは初めて」「ぜひ多くの村の人に見てほしい」と感想を話していました。



飯館ホップ収穫祭

9月6日、ゲストハウスCOCODAのほ場で、『飯館ホップ収穫祭』が開催されました。「東京大学飯館村ホッププロジェクト」の主催で、今回が2回目です。

ホップは、同プロジェクトの学生らが、村民の協力を得て栽培しています。今年は背の高い栽培棚を増設し、日当たりや風通しがよくなったことで収量が増え、品質も向上したそうです。

収穫祭には村内外から約40人が参加。収穫や加工の作業を体験した他、村の農畜産物を使ったバーベキューを楽しみ、交流しました。



わくわく交流フェスタ開催



9月20日、交流センター「ふれ愛館」で、ゲストハウスCOCODAが「わくわく交流フェスタ」を開催しました。今回が4度目の開催で、開会にあたりCOCODAの大澤和己さん(上飯樋)が、「いろいろな出会いがあり、力をいただけて開催ができている」と感謝を述べました。音楽やダンス、台湾のインフルエンサーによる歌の披露などステージイベントが続いた他、屋外にはクラシックカーが展示されるなど、多彩な企画が来場者を楽しませました。

長泥行政区 盛りだくさんの交流事業

9月13日、長泥行政区が「パークゴルフ大会」と「防災訓練」を実施し、約30人が参加しました。いいたてパークゴルフ場で開かれた大会では、和気あいあいとスポーツを楽しみ、長泥コミュニティーセンターに移動して懇親会。続いて、同センターでの火災を想定した防災訓練を行い、消防飯館分署の職員を講師に初期消火訓練などにも取り組みました。「普段からの意識づけが重要だね」「家の消火器も点検しよう」と防災意識を高めていました。



いいたてハーレーサマーフェス

8月29日に開催された『2026いいたてハーレーサマーフェス』。いいたて村の道の駅までい館に、全国からハーレーダビッドソン社製のバイクが集結しました。交流人口創出協議会(峯岸ひろ代表)主催、バイク誌「BIKER'S MAGAZINE VIBES」共催で、同誌の只野利浩編集長が「飯館村の未来の力、楽しい夏の思い出になってほしい」とあいさつ。愛好家のカスタムハーレーの展示、サイドカーの乗車体験、ステージイベントなどが行われ、にぎわいました。



猟友会 安全狩猟射撃大会に参加



7月26日、猟友会飯館支部が、福島市クレー射撃場で開催された「令和8年福島県猟友会支部対抗安全狩猟射撃大会」に出場しました。年齢別の3クラスと女性クラスの4部門があり、飯館支部が全クラスに出場するのは今回が初めて。合わせて開催された「支部長親善射撃競技会」では、佐藤光良支部長(比曽)が3位に入賞しました。32人が所属し女性隊員も活躍している飯館支部では、会員を募集中。活動に興味のある方は事務局の渡邊春治さん(小宮) ☎090-3125-9393 までご連絡ください。